

学校番号	406
------	-----

令和3年度 家庭科

教科	家庭科	科目	家庭総合	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「新家庭総合 パートナースHIPでつくる未来」(実教出版)						
副教材等	使用せず						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

○家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう

- ・生活の様々な現象や課題を様々な事例やDVD視聴等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
- ・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
- ・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2 学習の到達目標

○人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシート・感想文の記述 レポート、発表 自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシート・感想文の記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 製作品の出来映え レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	自分らしい生き方と家族	○家庭科の学び方 ○人生を展望しよう ・自分の生活みつめる ・人の一生と発達課題 ・青年期の自立と生涯を見通した生き方 ・主体的な人生のための意思決定 ○家族・家庭をみつめよう * サイレントオークション ○家庭生活と社会について考えよう	○ ○	○		○ ○	a: 青年期の生き方や家庭を気づくことに 関心を持ち、意欲的に学習に取り組もう としている。 b: 青年期にある自分を見つめ、課題を 見だし、その解決をめざして考え、表現 している。 c: サイレントオークション等を通して、 家族や家庭について検討する技術を身 に付けている。 d: 生涯発達の視点から、家族・家庭の 意義、社会との関わりなどについて理 解し、人の一生を自分の問題として捉 えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 感想文 定期考査
5 ・ 6 ・ 7月	子どもとかわる	○子どもの成長・発達について知ろう ・子どもみつめる ・新生児期・乳児期の成長・発達の特 徴 ・小学校低学年の子どもの成長・発達 の特徴 ○子どもの生活について知ろう ・子どもの生活と保育 ・子どもの遊びと児童文化 ・子どもの病気や心の問題と安全 ・子どもの保育環境 ○親になることを考えよう ○子どもの人権と福祉について考えよう	○ ○	○		○ ○	a: 子どもの発達や特徴などについて関 心を持ち、意欲的に学習に取り組もうと している。 b: 子どもの誕生や成長過程のDVDを視 聴し、感想文で自分の考えを表現してい る。 c: 子どもと適切に関わることができ たり子どもの健やかな発達を支える技 術を身に付けている。 d: 子どもの発達と保育について理 解し、家族・地域・社会の果たす役 割を認識するために必要な知識を身 に付けている。	授業観察 ワークシート 感想文 定期考査
		1学期末考査		○		○		定期考査

9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 月	住生活をつくる	○住生活をつめよう ・なぜ住まうのか ・住生活の成り立ちと住文化 ・現代の住生活 ○健康で安全な住生活を作ろう ・住まいと健康 ・住まいと安全 * 紙教材紙ぶるを使った耐震実験 ・住まいの管理 ○家族の生活と住空間を考えよう ・家族と住空間 ・住空間の計画 ○これからの生活を考えよう ・環境に配慮した住まいかた ・これからの住生活	○	○		○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査
		2学期末考査		○		○		定期考査
1 ・ 2 月	高齢期とかわる	○高齢者の生活をつめよう ・生涯発達と高齢期 ・高齢期の心身の特徴と生活 ・高齢期の生活設計と生活の課題 ○高齢者の福祉について考えてみよう ・日本の高齢者の原状と高齢者福祉 ・高齢者を取り巻く社会制度 ・要介護の高齢者の自立生活への支援 ○高齢者とともに生きる社会をめざして ・高齢者の社会的役割と世代間交流 ・高齢者の支援と福祉社会	○	○	○	○	a:高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d:高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査
		学年末考査		○		○		定期考査

表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現

c:技能 d:知識・理解

※ *は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。